

# 福島県浜通り地域における復興の現状と 企業誘致に向けた取り組みについて

平成31年3月  
大臣官房福島復興推進グループ  
福島新産業・雇用創出推進室

# 1 .復興の現状

# 避難指示区域の指定・見直しの経緯

1. 平成23年3月 事故発生 → 避難指示・屋内退避の指示

2. 平成23年4月

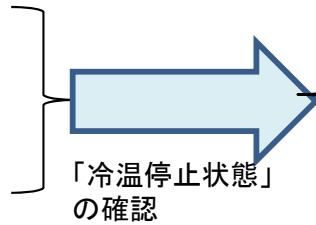
- ・警戒区域（福島第一から半径20km）  
【原則立入禁止、宿泊禁止】
- ・計画的避難区域（放射線量が20mSv/yを超える区域）  
【立入可、宿泊原則禁止】
- ・緊急時避難準備区域（福島第一から半径30km）  
【避難の準備、立入可、宿泊可】

3. 平成23年9月 緊急時避難準備区域の解除

4. 平成23年12月 冷温停止状態の確認 ⇒ 避難指示区域の見直しを開始

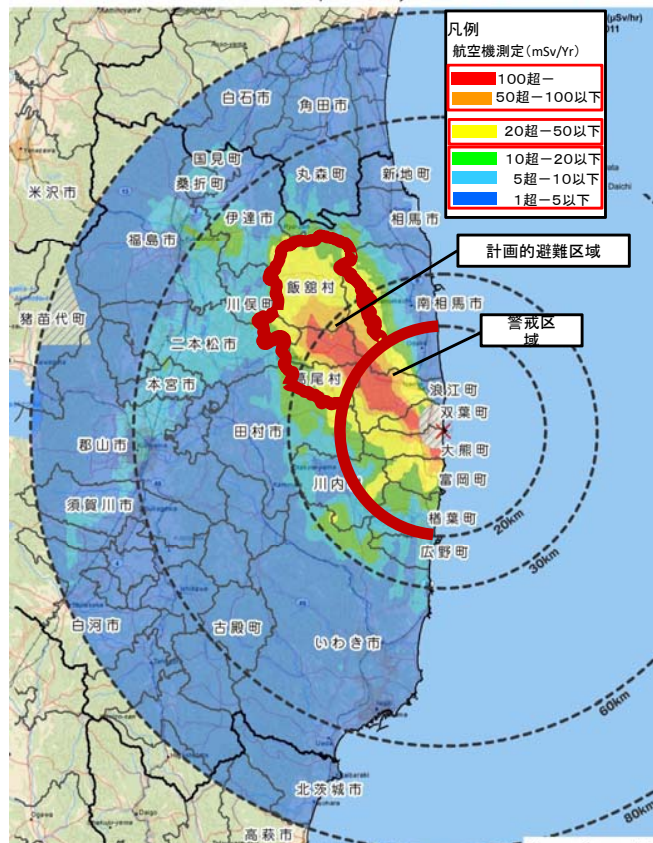
5. 避難指示区域の見直しの実施

- ・帰還困難区域（放射線量が50mSv/yを超える区域）  
【原則立入禁止、宿泊禁止】※平成27年6月19日以降、一部事業活動可
- ・居住制限区域（放射線量が20mSv/y～50mSv/yの区域）  
【立入り可、一部事業活動可、宿泊原則禁止】
- ・避難指示解除準備区域（放射線量が20mSv/y以下）  
【立入り可、事業活動可、宿泊原則禁止】

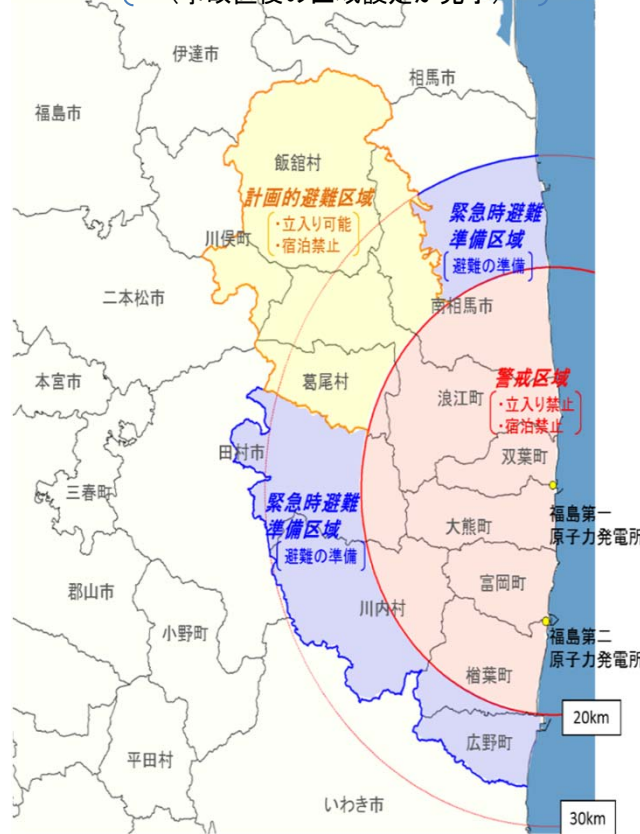


平成25年8月、避難指示区域の見直しは、被災11市町村ですべて完了(各市町村で、地区毎に住民説明会を実施(約200回))

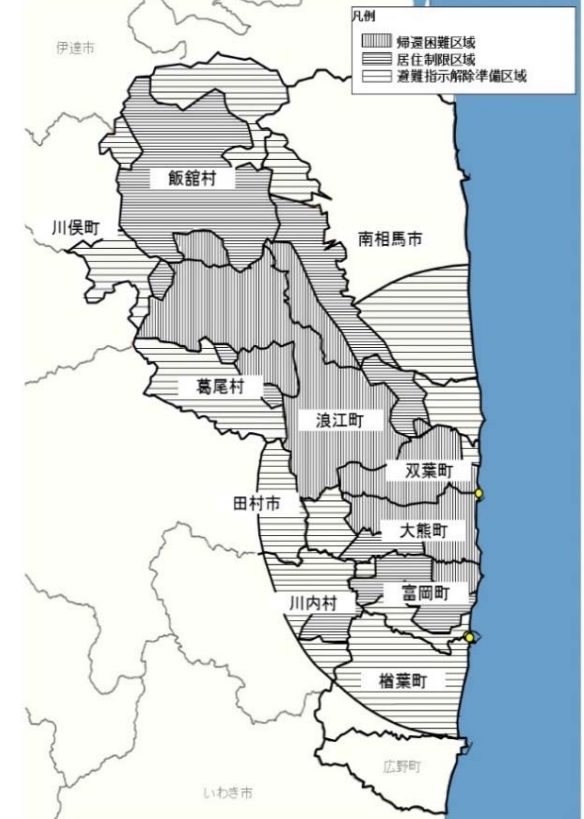
平成23年4月時点の空間線量から推定した積算線量の分布



平成23年4月22日時点(事故直後の区域設定が完了)



平成25年8月(区域見直しの完了時点)



# 避難指示解除の状況①

- 平成27年6月12日閣議決定「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」改訂：  
避難指示解除準備区域・居住制限区域について、遅くとも事故から6年後（29年3月）までに避難指示を解除できるよう、環境整備を加速
- この方針を受けて、平成29年春までに、大熊町・双葉町を除き、全ての居住制限区域、避難指示解除準備区域を解除。

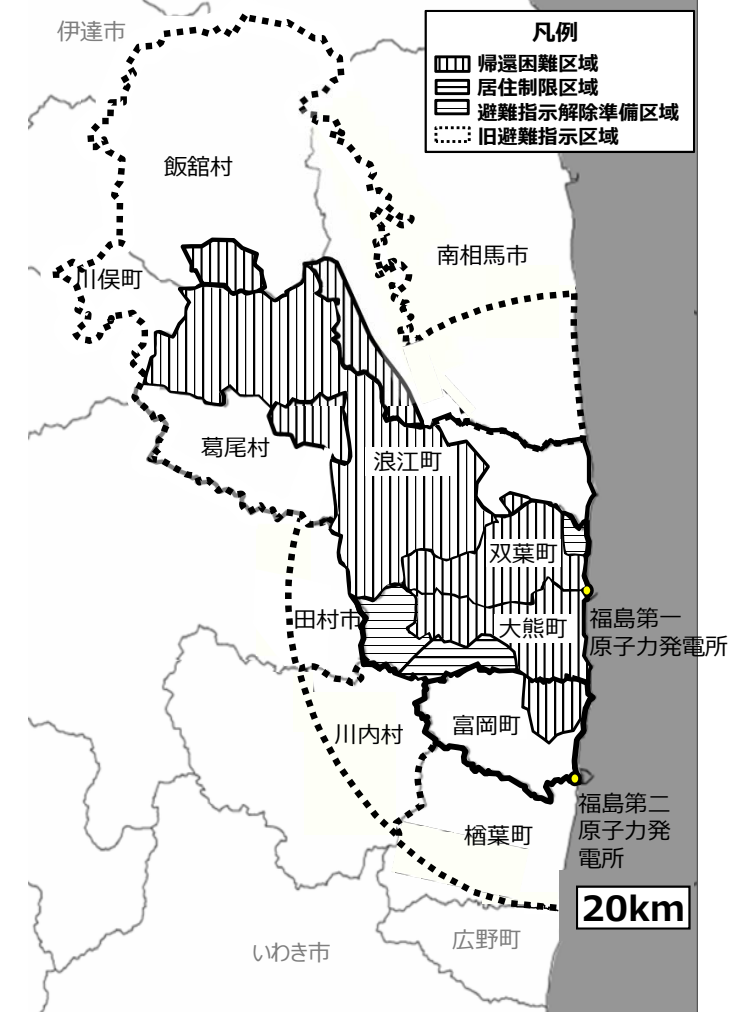
## ●居住制限区域、避難指示解除準備区域の解除の経緯

- ・平成26年4月1日：田村市
- ・平成27年9月5日：楢葉町  
(全住民の方が避難した自治体としては初めての避難指示解除。)
- ・平成28年6月12日：葛尾村
- ・平成28年6月14日：川内村  
(平成26年10月1日に、一部地域で避難指示解除を実施するとともに、居住制限区域を避難指示解除準備区域に見直し。)
- ・平成28年7月12日：南相馬市
- ・平成29年3月31日：飯舘村、川俣町、浪江町
- ・平成29年4月1日：富岡町

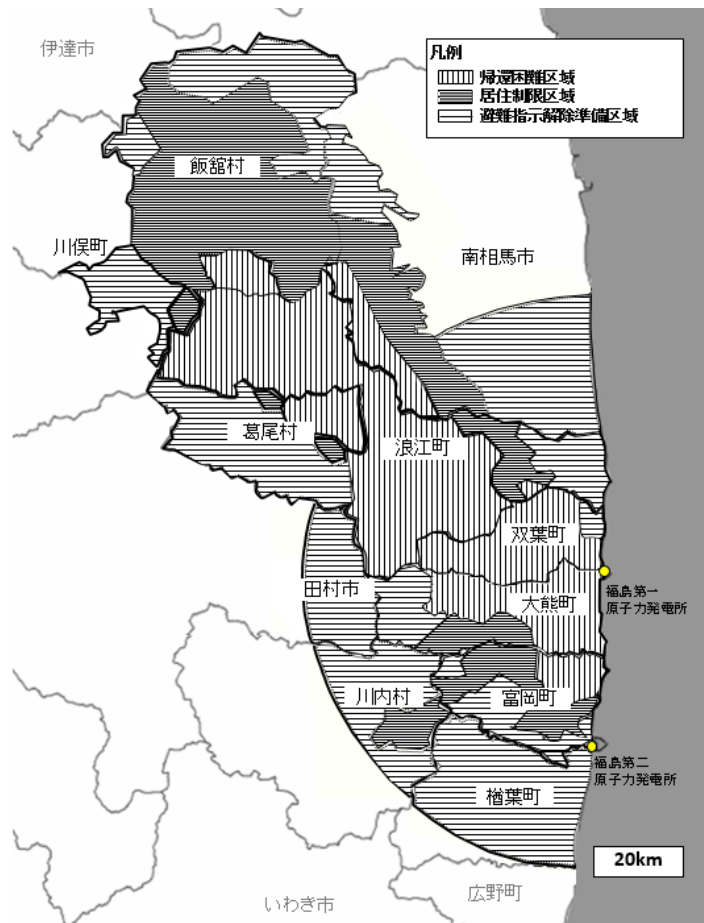
## ●大熊町、双葉町（町の96%が帰還困難区域(人口ベース)）

- ・大熊町：大熊町における準備宿泊を平成30年4月24日より開始。  
＜準備宿泊登録状況＞世帯数：19世帯、人数41人（平成31年1月16日時点）
- ・双葉町：平成28年12月20日に「復興まちづくり計画（第二次）」を公表。（中野地区（避難指示解除準備区域）においては、まずは新産業創出ゾーンの施設につき、30年頃一部供用開始を目指し、整備予定。）

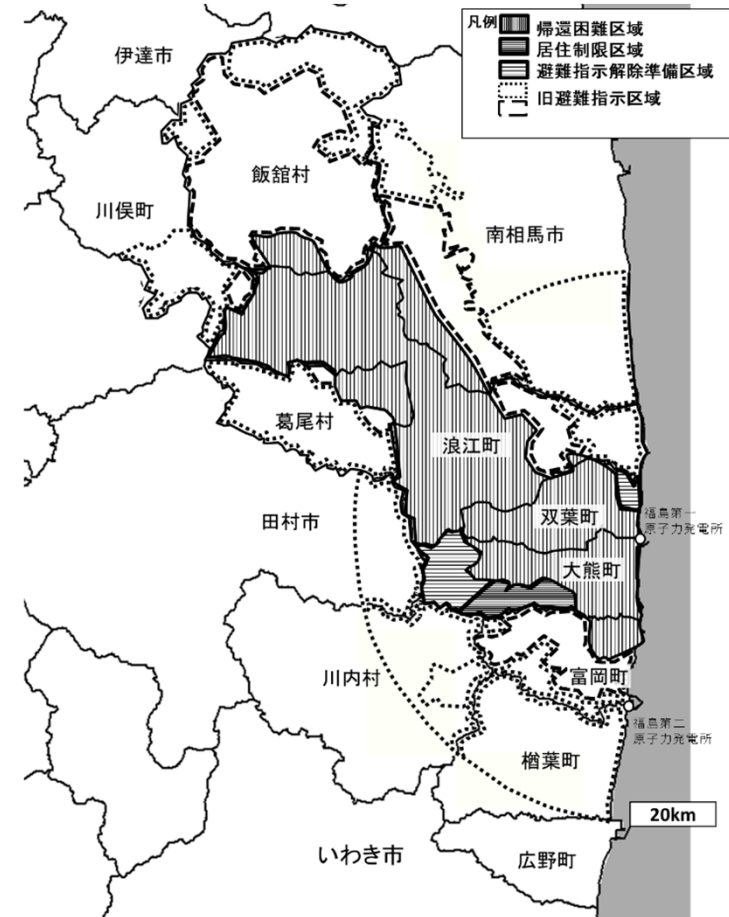
避難指示区域の概念図



# 避難指示解除の状況②



平成25年8月  
(区域設定時)



平成30年4月時点

区域設定時から約4年8か月

避難指示区域からの避難対象者数	約8.1万人		約2.4万人 (約5.7万人減)
避難指示区域の面積	約1,150km <sup>2</sup>		約370km <sup>2</sup> (約780km <sup>2</sup> 減)

(注)避難指示区域からの避難者数は、市町村からの聞き取った情報（それぞれ、平成25年8月8日時点、平成29年2月1日時点の住民登録数）を基に、原子力被災者生活支援チームが集計。

# 交通インフラの整備状況～首都圏等と浜通り地域を結ぶ交通～

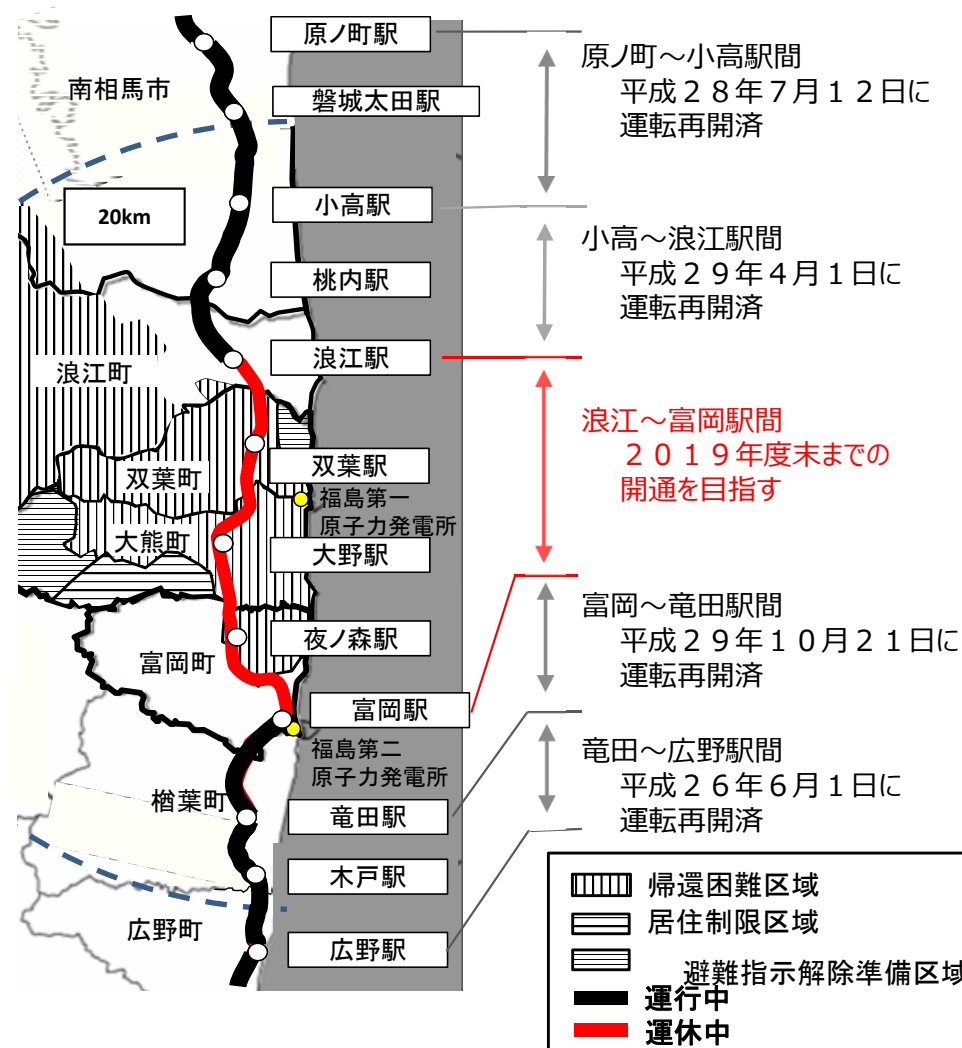
- 常磐自動車道では、いわき中央IC～岩沼ICの4車線化事業等が進展。いわき中央IC～広野ICの4車線化及びICの追加（（仮称）双葉、（仮称）大熊）について事業着手。
- JR常磐線は、浪江～富岡駅間以外運転再開済。2019年度末までの全線開通を目指す。

## 常磐自動車道



※4車線化及び付加車線設置について、復興・創生期間内の概ね5年での完成を目指す。

## JR常磐線



# 周辺の生活環境の整備状況（買い物環境）

## 飯舘村

- **いいたて村の道の駅までい館**（平成29年8月開店）  
・セブンイレブン、食堂等



## 川俣町

- **とんやの郷**（平成29年7月開店）  
・ファンズ（地元スーパー）、食堂



## 川内村

- **YO-TASHI**（平成28年3月開店）  
・ファミリーマート、クリーニング、飲食店等



## 檜葉町

- **ここなら笑店街**（笑ふるタウンならは内）  
（平成30年6月開店）  
・スーパーマーケット、ホームセンター、飲食店 等



## 広野町

- **ひろのてらす**（平成28年3月開店）  
・イオン、クリーニング、飲食店当



## 南相馬市

- **小高ストア**（平成30年12月開店）  
・スーパーマーケット
- **おおまちマルシェ**（平成28年4月開店）  
・スーパーマーケット

小高ストア



## 大熊町

- **大熊町公設商業施設**  
（建設中：2019年度中 開店予定）  
・スーパーマーケット、飲食店 等



## 浪江町

- **道の駅／交流・情報発信拠点**  
（建設中：2020年4月開店予定）  
・小売、飲食店 等



## 浪江町

- **まち・なみ・まるしえ**（平成28年10月開店）  
・小売、飲食店 等



## 富岡町

- **さくらモールとみおか**（平成29年3月開店）  
・ヨークベニマル、ダイユーエイト、飲食店 等



# 医療・福祉・教育施設の主な整備状況

## 飯舘村

- 【医療施設】
  - ・平成28年9月、医療機関「いいたてクリニック」が診療を再開。
- 【福祉施設】
  - ・特養いいたてホームは、震災直後から運営を継続。
- 【教育施設】
  - ・平成30年4月に小中学校、こども園が村内で再開。



いいたてクリニック

## 川俣町

- 【医療施設】
  - ・平成28年10月より、山木屋診療所が診療を再開。
- 【教育施設】
  - ・平成30年4月に小中学校が町内で再開。

## 葛尾村

- 【医療施設】
  - ・平成29年11月より、葛尾村診療所が診療を再開。
- 【教育施設】
  - ・平成30年4月に小中学校、幼稚園が村内で再開。

## 田村市

- 【医療施設】
  - ・平成23年7月から都路診療所、歯科診療所が再開。
- 【福祉施設】
  - ・平成24年3月に、特養都路まどか荘が再開。
- 【教育施設】
  - ・平成26年4月から都路町の小中学校、こども園等が元の校舎で再開。

## 川内村

- 【医療・福祉施設】
  - ・平成24年4月、村立保健・福祉・医療総合施設「ゆふね」が再開。
- 【福祉施設】
  - ・平成27年11月、特養かわうちが開所。
- 【教育施設】
  - ・川内中学校敷地内において、室内型村民プールが平成28年4月にオープン。



室内型村民プール

## 広野町

- 【医療施設】
  - ・平成29年5月より、広野薬局が再開。
- 【福祉施設】
  - ・平成24年4月に、特養花ぶさ苑が再開。
- 【教育施設】
  - ・平成27年4月に、ふたば未来学園高校を開校。
  - ・平成31年4月に、ふたば未来学園の併設中学校を開設予定。

## 南相馬市

- 【医療施設】
  - ・平成28年4月より小高病院が週5日の外来診療を再開。
  - 平成29年4月より小高調剤薬局が再開。
- 【教育施設】
  - ・平成22年度4月にテクノアカデミー浜を開校し、地元製造業等で必要な基盤技術を身につけた人材を育成。
  - ・平成29年4月に小高区の幼稚園、小中学校が再開。
  - ・小高商業高校と小高工業高校を統合し、小高産業技術高校を平成29年4月に開校。



小高調剤薬局

## 浪江町

- 【医療施設】
  - ・平成29年3月、浪江診療所を役場敷地内に開設。
- 【教育施設】
  - ・平成30年4月に小中学校、こども園が町内で再開。



浪江診療所

## 富岡町

- 【医療施設】
  - ・平成28年10月にとみおか診療所が開所、平成29年4月に富岡中央病院が再開。また、平成30年4月に、2次救急医療施設「ふたば医療センター付属病院」が開院。
- 【教育施設】
  - ・平成30年4月に小中学校が町内で再開。



## 楢葉町

- 【医療施設】
  - ・平成28年2月、県立ふたば復興診療所（内科、整形外科）が開所。
- 【福祉施設】
  - ・平成28年3月、特養リレー園が再開。
- 【教育施設】
  - ・平成29年4月、小中学校が町内で再開。



県立ふたば復興診療所





## 2. 新たな産業集積の取組 ～福島イノベーション・コースト構想の推進～

# 福島イノベーション・コースト構想 主な拠点、プロジェクト、研究機関等

※赤字は第1回イノベ分科会（2017年11月27日）からの進捗箇所。

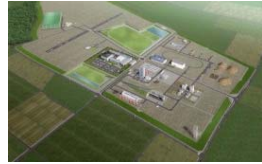
2018年12月現在

福島ロボットテストフィールド  
(南相馬市原町区、浪江町)

平成30年2月着工  
同年7月一部開所



77・ロボティクス・チャレンジ フィールド 評価会開催



福島ロボットテストフィールド

① 浜地域農業再生研究センター (南相馬市原町区)  
② 浜地域研究所 (相馬市)

浜地域農業再生研究センター



いわき市のトマト栽培



③ 環境制御型施設園芸の導入推進  
(大熊町、南相馬市、川内村、いわき市等)

④ 花き等の新たな生産振興  
(飯館村、葛尾村、川俣町 等)

川俣町のアンズリウム栽培



水産資源研究所



⑤ 水産海洋研究センター (いわき市)  
⑥ 水産資源研究所 (相馬市)

⑤ 平成30年4月着工  
⑥ 平成30年6月一部供用開始

① 情報発信拠点 (アーカイブ拠点) 施設  
(双葉町)

平成29年12月整備事業の概要公表



アーカイブ拠点

② 東京電力廃炉資料館 (富岡町)

平成30年11月原子力発電所事故の事実と廃炉事業の現状等についての展示施設開館



水産海洋研究センター



いわき市



JAEA関連施設  
① 楡葉遠隔技術開発センター (楡葉町)  
② 廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟 (富岡町)  
③ 大熊分析・研究センター (大熊町)



楡葉遠隔技術開発センター



廃炉国際共同研究センター国際共同研究棟



大熊分析・研究センター施設管理棟

③ 平成30年3月一部運用開始

④ 福島廃炉技術者研修センター

平成30年10月廃炉事業に必要な技術者養成の拠点として、東京電力福島第一原子力発電所協力企業棟内に設置

⑤ 環境放射線センター (南相馬市原町区)

② 浮体式洋上ウインドファーム実証研究 (福島沖)

浮体式洋上風力発電設備



藻類バイオマス・エネルギー実証施設

⑤ 藻類バイオマス・エネルギー実証施設 (南相馬市原町区)

⑥ 天然ガス (LNG) 火力発電プロジェクト (新地町)

平成30年3月LNG基地操業開始



LNG火力発電所

① 福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R) (浪江町)

平成30年7月工場着工

福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)



※東芝エネルギーシステムズ資料

③ 避難地域等再生可能エネルギー導入促進 (風力発電、太陽光発電等)

④ スマートコミュニティ構築 (新地町、相馬市、浪江町、楡葉町、葛尾村)

平成30年3月葛尾村マスタープラン策定終了  
平成30年4月浪江町構築事業開始  
平成30年3月相馬市構築完了

⑦ 石炭ガス化複合発電 (IGCC) プロジェクト (広野町、いわき市)

平成30年4月広野IGCC発電所着工



東京電力/福島IGCCプロジェクト

# 実用化開発プロジェクトの概要

◎市町村毎の採択プロジェクト例（30年度採択件数:83件(うち継続案件は48件)）

- ロボット分野
- エネルギー分野
- 環境・リサイクル分野
- 農林水産業分野
- 医療機器等分野
- 環境回復等分野



- : 平成30年度からの新規案件
- : 平成29年度からの継続案件
- : 平成28年度からの継続案件

**【いわき市】25件**

- 大型風力発電プロジェクト向け高強度・高耐久・太径タワー連携ボルト・アンカーボルトの実用化開発 (株)東北ネヂ
- 日産リーフ使用済みリチウムイオンバッテリーによる電源開発 日産自動車(株)
- 在宅メデイケアシステム開発 コニカミノルタ(株),福島コンピューターシステム(株)

**【相馬市】6件**

- 再生可能エネルギーを活用した乾燥処理システムのエントリモデル実用化開発 (株)I H I
- 発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF(廃プラスチック固化燃料)製造技術の開発 (株)タケエイ

**【田村市】3件**

- ドローンによるアグリセンシングの研究開発 (株)糺の森,慶應義塾大学SFC研究所

**【南相馬市】28件**

- 配送業務の高度化に向けた無人機活用検証 日本郵便(株)
- ドローンおよび無人地上車輻による害獣対策と物資輸送サポート技術の開発 (有)ワインディング福島,イームズロボティクス(株)
- 石炭灰リサイクル製品(再生砕石)製造技術の開発 福島エコクリート(株),(一財)石炭エネルギーセンター

**【川俣町】1件**

- 毎日着用可能なウェア型IoT機器およびオンライン診療システムによる健康モニタリングサービスの開発 ミツフジ(株)

**【広野町】3件**

- UAVを利用した災害時即時情報収集 (株)大和田測量設計

**【楢葉町】3件**

- 新たな医療用画像診断装置の実用化開発 福島SiC応用技研(株)

**【富岡町】3件**

- ドローンによる地形・画像計測と放射線量測定による広域空間線量の取得手法の開発 (株)ふたば

**【川内村】3件**

- 耐候型屋内農場におけるキノコ類菌床栽培の収益改善 プランツラボラトリー(株)

**【浪江町】4件**

- 日産リーフ使用済みリチウムイオン電池を活用したバイパスシステム開発 フォーアールエナジー(株)
- UAVを使用したイノシシ等の生息状況観測技術の開発 (有)ヨシダ電子,フジ・インバック(株)

**【葛尾村】2件**

- 中山間地域の農業振興のための新ICT「自然と共生した高付加価値営農モデル」の開発 東北大学大学院農学研究科東北復興農学センター,(株)SJC,(株)NTTドコモ,トライポッドワークス(株)

**【新地町】1件**

- 地域エネルギーマネジメントシステムの設計と復興・まちづくり計画・評価システムの開発 (国研)国立環境研究所

**【飯舘村】1件**

- 安全な農畜産物生産を支援するICT営農管理システムの開発 東京大学大学院農学生命科学研究科

# 優秀で粘り強い人材

- ロボットやエネルギー産業など、福島イノベーション・コースト構想を支える優秀な技術者、研究者などの人材を、高校・大学・研究機関が連携して育成。
- 企業の離職率も低く、進出企業からも「まじめで粘り強い人材が多い」と高い評価を受けている。また、高等学校の工業科学生数は東北・北関東随一。



## テクノアカデミー浜 (南相馬市)

- ・職業能力開発短期大学校と職業能力開発校を併せ持つ施設で、学卒者向けの2年間の教育訓練や在職者向けの短期の教育訓練等を実施。
- ・福島イノベーション・コースト構想におけるエネルギーやロボット関連産業において、地元企業が参入・対応していくために必要と考えられる基盤技術を身につけた人材を育成。



## 小高産業技術高等学校 (南相馬市)

- ・平成29年4月、小高商業、小高工業高等学校が統合し、小高産業技術高等学校が南相馬市小高区に開校。
- ・スーパープロフェッショナルハイスクール (SPH) の指定を受け、再エネやロボット工学を学ぶ産業革新科を設置するなど福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成を実施。



## ふたば未来学園高等学校 (広野町)

- ・スーパーグローバルハイスクール (SGH) の指定を受け、グローバルリーダー育成のための質の高いカリキュラム開発を実施。
- ・アクティブ・ラーニングを教育活動全体で展開して、地域や社会の変革者たる人材を育成。ふるさと創造学や未来創造探求、海外研修に取り組み、社会へ未来へ貢献するグローバル・リーダーを育成。
- ・2019年度から、中学校も開校し、中高一貫校に。

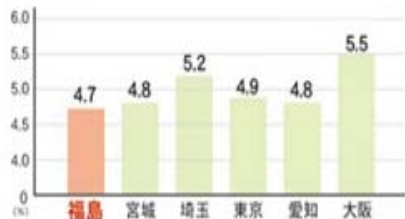


## 福島工業高等専門学校 (いわき市)

- ・福島イノベーション・コースト構想を推進していく技術者の育成を行うため工学系4学科を改組。
- ・原子力に依存しないエネルギーと安全・安心な社会を目指すべく、再生可能エネルギー、原子力安全、防災・減災に関するカリキュラムの創設や他機関との連携による研究・地域復興事業を実施。



■ 離職率



(総務省統計局「社会生活統計指標～都道府県の指標2016～」)

■ 高等学校の工業科学生数 (男女計)



(平成27年度 学校基本調査)

# 3. 企業誘致に向けた取組

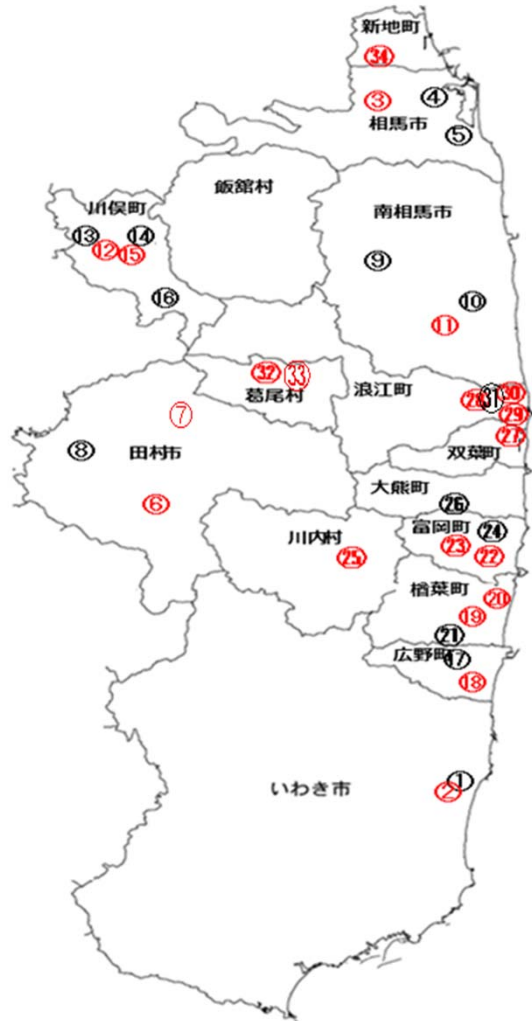
# 産業団地の整備状況

- 福島再生加速化交付金等を活用し、浜通り地域等15市町村の産業用地整備が進んでいる。
- 賃料については、例えば川俣町の西部工業団地では年間105円/m<sup>2</sup>。

## (参考) 工業団地の平均地価

全国：16,948円/m<sup>2</sup> 北東北：5,554円/m<sup>2</sup> 南東北：13,256円/m<sup>2</sup> 東海：26,223円/m<sup>2</sup> 出典：平成28年工場立地動向調査

### <産業団地図>



自治体名	名称	整備状況 (完成予定時期)	供用状況 (開始予定時期)	募集状況 (開始予定時期)	募集区画/面積
いわき市	①四倉中核工業団地第1期区域	整備済み	供用済み	募集中	1区画 (1.0ha)
	②四倉中核工業団地第2期区域	整備済み	供用済み	募集中	3区画 (17ha)
相馬市	③相馬中核工業団地西地区	整備済み	供用済み	募集中	4区画 (5.6ha)
	④相馬中核工業団地東地区	整備済み	供用済み	募集停止中	なし
	⑤相馬南第二工業団地	整備済み	供用済み	募集停止中	なし
田村市	⑥田村市産業団地	平成31年度末	平成32年4月 (一部、先行供用開始)	募集中	6区画 (8.6ha)
	⑦田村市東部産業団地	平成32年度末	平成33年4月	募集中	区画数未定 (約22ha)
	⑧田村西部工業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
南相馬市	⑨信田沢工業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
	⑩南相馬市復興工業団地 第1期	整備済み	供用済み	募集終了 (福島ロボットテストフィールド用地として提供中)	なし
	南相馬市復興工業団地 第2期	第2期: 平成31年度夏頃	第2期: 平成31年度	募集中	区画割は応相談 (8.8ha)
	⑪下太田工業団地 第1期 下太田工業団地 第2期	第1期: 整備済み 第2期: 平成30年度	第1期: 供用済み 第2期: 平成30年度から順次供用開始	募集中 募集中	区画数は応相談 (0.8ha) 区画数は応相談 (0.8ha)
川俣町	⑫西部工業団地	整備済み	供用済み	募集中	2区画 (5.0ha)
	⑬羽田産業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
	⑭飯坂工業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
	⑮中山工業団地	整備済み	供用済み	募集中	4区画 (0.6ha)
	⑯山木屋工業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
	⑰広野工業団地 ⑱広野駅東側産業団地	整備済み 整備済み	供用済み 供用済み	募集終了 募集中	なし 3区画 (0.94ha)
楡葉町	⑲竜田駅東側地域	整備済み	供用済み	募集中	6区画 (約2.3ha)
	⑳楡葉北産業団地	第1工区: 整備済み 第2工区: 平成30年度 (予定) 第3工区: 平成32年度末 整備済み	第1工区: 供用済み 第2工区: 平成31年度 (予定) 第3工区: 平成33年度より供用開始予定 供用済み	第1工区: 募集終了 第2工区: 募集終了 第3工区: 募集中	第1工区: なし 第2工区: なし 第3工区: (約3.5ha) なし
	㉑楡葉南工業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
富岡町	㉒富岡産業団地	平成32年度	平成32年度 [一部、平成31年末供用開始]	平成31年度春	区画数未定 (約21ha)
	㉓富岡工業団地	整備済み	供用済み	募集中	区画割は応相談 (6.7ha)
	㉔富岡第二工業団地	【オーダーメイド部分は未造成】 整備済み	【オーダーメイド部分は未供用】 供用済み	【オーダーメイド部分】 募集終了	【オーダーメイド部分】 なし
川内村	㉕田ノ入工業団地	整備済み	供用済み	募集中	5区画 (5.7ha)
大熊町	㉖大熊西工業団地	未定	未定	未定	未定
双葉町	㉗双葉町中野地区復興産業拠点	第1期: 平成30年度冬頃より順次 第2期: 平成31年度冬頃より順次	第1期: 平成30年度冬頃より順次供用開始 第2期: 平成31年度冬頃より順次共用開始	募集中	第1期: 区画割は応相談 第2期: 区画割は応相談
浪江町	㉘浪江町北産業団地	平成31年度秋	平成31年度秋	募集中	3区画 (4ha) を予定
	㉙浪江町南産業団地	平成31年度末	平成31年度末	募集中	10区画 (22ha) を予定
	㉚浪江町棚塩産業団地	平成31年度末	平成31年度末	募集中	1区画 (2ha) を予定
	㉛藤橋産業団地	整備済み	供用済み	募集終了	なし
葛尾村	㉜葛尾村産業団地	平成31年度末	平成31年度末 (一部、平成30年6月供用開始)	平成30年度	3区画 (3.0ha)
	㉝葛尾村東部産業団地	平成31年12月	平成32年1月	平成30年度	3区画 (2.6ha)
新地町	㉞新地南工業団地	整備済み	供用済み	募集中	1区画 (2.6ha)

※赤字の産業団地は、入居募集中。

- 避難指示解除の進展に伴い、産業団地を中心として新たな企業の立地が進んでいる。

<ニッケル酸リチウム>

## <進出企業の具体例（操業済み）>

### 事例1：住鋳エナジーマテリアル（楢葉町）※平成28年3月操業開始

- 本社：東京都港区
- 事業内容：二次電池用正極材料の製造
- ふくしま産業復興企業立地補助金を活用して工場を建設。
- 25名の地元での雇用を確保。



### 事例2：（株）アトックス（富岡町）※平成28年8月操業開始

- 本社：東京都港区
- 事業内容：原子力関連施設の保守・管理等
- ふくしま産業復興企業立地補助金を活用して工場を建設。
- 10名の地元での雇用を確保。



### 事例3：福島エコクリート（株）（南相馬市）※平成30年3月操業開始

- 本社：南相馬市(出資比率：日本国土開発51%、新和商事39%、JCOAL10%)
- 事業内容：フライアッシュ（石炭灰）を用いた土木資材の製造
- 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用し工場を建設。  
地域復興実用化開発等促進事業補助金を活用し石炭灰リサイクル製品製造技術を開発中。
- 20名の地元での雇用を確保。

<石炭灰再生砕石>

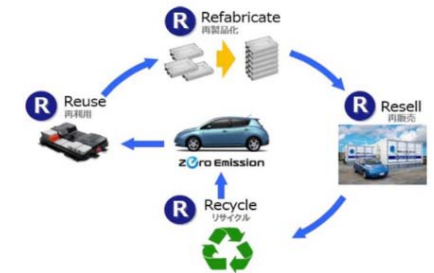


## 新たな企業の進出②

### 事例4：フォーアールエナジー（株）（浪江町）※平成30年3月操業開始

- 本社：横浜市（出資比率：日産自動車51%、住友商事49%）
- 事業内容：車載用リチウムイオンバッテリーの二次利用技術の開発・製造
- 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金を活用し工場を整備。日産自動車が地域復興実用化開発等促進事業補助金を活用して開発したシステムの事業化を計画。
- 6名の地元での雇用を確保。

<リーフのバッテリーのリサイクルの仕組み>



### 事例5：ミツフジ（株）（川俣町）※平成30年9月操業開始

- 本社：京都府相楽郡
- 事業内容：導電性繊維、ウェアラブルIoT機器の開発・製造
- 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用し工場を建設。
- 10名の地元での雇用を確保。

<導電性繊維>



### <進出企業の具体例（今後操業予定）>

### 事例6：（株）アルメディア（双葉町）※2020年9月操業開始予定

- 本社：東京都日野市
- 事業内容：新規事業として炭素繊維の製造を予定
- 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金を活用して工場を建設。○約10名の地元での雇用を確保予定。



### 事例7：双葉住コン（株）／大林道路（株）（双葉町）※2019年夏頃操業開始予定

- 本社：双葉町／東京都千代田区（両者がJVを設立して中野地区に立地）
- 事業内容：双葉地域の今後の復興に使用される道路舗装材料の製造を予定
- 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金を活用して工場を建設。○約5名の地元での雇用を確保予定。

